

# 大野晃の スノーボード

第22回ソチ冬季五輪の開幕が2月7日に迫った。ロシアでの冬季五輪開催は初めて。五輪開催は、冷戦下の西側ボイコットで揺れた1980年旧ソ連・モスクワ夏季大会以来34年ぶり2回目。黒海沿岸のリゾート地の沿岸開発地域と山岳部を舞台に17日間にわた

## ソチ五輪に政治利用の危険

取り入れた種目など12種目増えて、7競技98種目を争う。冬季五輪は商業主義利用の拡大が懸念されてい

## 浮上する最高裁事務総局の闇

### 森ゆうこ元参院議員が一市民を提訴

昨年の10月2日、森ゆうこ元参院議員が、「最高裁の闇」(R&Kプレス)の著者で、プログラマーの志岐武彦氏に対して500万円を支払い(訴訟価額は820万円)を求め、名誉毀損裁判を起こした。

参加者は約50名。志岐氏の話を通じて浮上してきたのは、恐るべき最高裁事務総局の実態である。マスコミが報道を自粛したゆえにほかならない。

先参院選で落選して現職を退いたとはいえず、元国会議員が一市民を提訴するのは異例だ。が、マスコミは一切、この提訴を報しなかった。最高裁の闇が絡んだ裁判であるにもかかわらず、無視したのである。

が、テレビ観戦向きの種目や国対抗争う種目が増えたのが特徴だ。しかも黒海を埋め立てた競技施設群や山岳部の大規模開発で、自然と共

亡した。テロを抑え込む大國ロシアを世界に印象づけることを狙った、武器で守る大開発優先の「平和の祭典」になりかねない。

り、カプカスのイスラム武装勢力の拠点も近い。昨年未には北東に約7000人の地域で自爆テロ事件があり、30人以上が死

に、大統領が陣頭に立つて国の威信をかけた成功を目指しているが、テロ対策で異様な警備強化が特色になっている。

## 沖繩は日本政府の非道に屈しない

### 名護市長選勝利で県民の怒りと決意を世界に

昨年12月27日、仲井眞弘多・沖繩県知事は、地元住民の切なる願いや多数の県民の反対を押し切つて辺野古新基地建設に向けた埋立申請を承認した。

もむしる検査の責任を追及するようになった。第5検査審査会に審査員は存在したが、捏造報告書に誘導されて、小沢氏に

志岐氏には、それが問題の本質をすり替える行為に感じられた。最高裁の不正は、国家の大スキヤンタルになるので、検査審査会疑惑の責任を最高裁から検査に転嫁せ

図が見え見えだった。これに対する知事の「おれ」や「いい正月を迎えられ」という発言は、県民が力ネと引き替えに基地を受け入れたという誤ったメッセージを政府や国民に与えるものとして、県民の怒りと屈辱感は一

された書類が沖繩防衛局に発送されたという情報を受けて、2千人の県民が県庁舎を包囲、「屈しない」のボードを掲げ抗議の声をあげた。その一にして、1月19日投票後、県庁ロビーに千人が座り込み、抗議集会を行った。

## 沖繩音楽をめぐる冒険

沖繩ではこれまで、多くのレコードレーベルが作られてきました。その先駆けとなったのが、普久原朝喜が大阪の大正区で立ち上げた、「マルフク・レコード」です。



「かぎやて風」など、古典の名曲が収録されている

手たちを紹介し、杉並区にある店「円盤」の店人は毎月、1・レコード・ル」と銘打ったを開催。沖繩県けたユニークなを紹介していま

## 不定点



連載